

授業科目	神経障害理学療法評価学	2 学年・後期・1 単位 (30 時間)	
		理学	必修

科目担当責任者	菅原和広 (保健医療学研究棟 E404 号) e-mail : kaz.sugawara@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	佐々木健史、田代英之		
概要	理学療法評価の目的は、種々の検査・測定を通じて情報収集を行い、その結果を統合・解釈することで、対象者が有する障害とその程度を把握することである。当該科目では、神経障害を有する対象者に対する検査の目的と意義を理解し、病態に応じた的確かつ正確な検査法を実践するための基礎理論と技術を学ぶ。さらに、具体的な症例に関する評価を通じて、理学療法の方針決定につながるプロセスを学習する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 神経学的検査の臨床的意義や目的を説明できる。 2. 検査を実施する際の留意点を説明できる。 3. 対象者の病態に応じた的確で正確な検査を実施し、正確に記録できる。 4. 検査結果を統合・解釈し、障害像を適切に評価できる。 5. 代表的な病態を理解した上で、一連の検査と評価を実施できる。 		
関連科目	神経障害理学療法学、臨床実習 2、神経内科学、生理学 3		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	テスト	100%	
教科書	①医療情報科学研究所 編集 [2017 年] 「病気がみえる Vol. 7 脳・神経 第 2 版」 メディックメディア ②千住秀明監修 [2011 年] 「理学療法評価法 第 3 版」 神陵文庫		
参考書	指定なし		
履修上の留意点			

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	オリエンテーション, 脳神経検査	事前: 解剖学・生理学の復習	講義・演習	菅原
2	感覚検査	事前: 教科書の予習 事後: 検査・評価法の復習	〃	〃
3	腱反射	事前: 教科書の予習 事後: 検査・評価法の復習	〃	〃
4	病的反射	事前: 教科書の予習 事後: 検査・評価法の復習	〃	〃
5	筋緊張検査・協調性検査	事前: 教科書の予習 事後: 検査・評価法の復習	〃	佐々木
6	姿勢バランス, 姿勢反射・反応検査	事前: 教科書の予習 事後: 検査・評価法の復習	〃	〃
7	前半の検査 まとめ	事前: 教科書の予習 事後: 検査・評価法の復習	〃	菅原 佐々木
8	片麻痺機能検査 1	事前: 教科書の予習 事後: 検査・評価法の復習	〃	菅原

9	片麻痺機能検査 2	事前：教科書の予習 事後：検査・評価法の復習	〃	〃
10	高次・認知機能検査	事前：教科書の予習 事後：検査・評価法の復習	〃	〃
11	パフォーマンス検査	事前：教科書の予習 事後：検査・評価法の復習	〃	田代 菅原
12	神経障害系理学療法評価復習 1	事前：教科書の予習 事後：検査・評価法の復習	〃	菅原 佐々木 田代
13	神経障害系理学療法評価復習 2	事前：教科書の予習 事後：検査・評価法の復習	〃	〃
14	神経障害系理学療法評価復習 3	事前：病態に関する予習	〃	〃
15	神経障害系理学療法評価復習 4	事前：病態に関する予習	〃	〃